

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33503	住居管理 House Management	阿部 順子	専門	2	選択	1・2 年前期
<b>科目の概要</b>						
生活の器である住居を適切に管理し、快適で健康な生活を送るとともに、地域や地球の環境にも配慮した住まい方が求められている。住居の管理を通じて、住生活そのものをより良く知り、改善していくために、日常的に心掛けるべきことを習得し、自らが実践していける力と、他者への支援ができる力を身につける。この授業では、住まいにおけるライフスタイルを自らデザインできるように必要な専門的知識を修得し、活用できる能力を身につける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 住居の基本的知識を習得する。 ② 住居管理で考慮すべき事項を総括する。 ③ 具体的な管理の対象・方法が理解でき、管理の評価に基づく、次のステップに進む知見を得る。 ④ 自らの住生活を住居管理の観点から省察・改善できる資質を身につける。			① 習得した住居の基本的知識に基づいて、住居管理の必要性や課題を適切に説明できる。 ② 管理対象についてどのような方法や取組によってより適切な管理が可能となるかを示すことができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	日本の住まいの適切な管理を知るという目標に向かって、教科書や講義を基礎に、自らすすんで自己学習を進めていくことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	実物を観察する、資料を収集する、問いかける、議論するなど、能動的に取り組みつづけることができる。				
考え抜く力	課題発見力	事象の背景にある脈絡や関係性について、常に「なぜ」と問いかけ、より高次のステップを目指すための課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	事象を理解し、知識を習得することを通じて、さまざまな知識を有機的に関連づけられるような、自らの知のフレームを創り上げるよう努力できる。				
チームで働く力	発信力	学習の過程で抱いた疑問や知見を、より広い文脈の中に位置付け、ポイントを適確に示しつつ要領よく発信することができる。				
	傾聴力	人の意見に対して、真摯に受け止めようとする態度をもって耳を傾けるとともに、その意見への賛否を応答し、発展的な議論となるように展開することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	明示的なルールに従うことにとどまらず、共に学ぶ者が啓発し合えるように、良識ある態度で授業に取り組むことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト：『図解住居学6 住まいの管理』、図解住居学編集委員会、彰国社、2800 円 参考文献：『住まいのデザイン』、北村薫子ほか、朝倉書店、2300 円						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
科目との関連：インテリアデザイン、住まいの文化 資格との関連： インテリアコーディネーター						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
授業には相当時間の予習・復習が前提であることをよく理解し、毎回のレポート等に真摯に取り組んでください。			・遅刻は出席とカウントしないので、ご注意下さい。 ・当日欠席のため課題等の提出が遅れる場合には可能な限り速やかに提出してください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	45	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な住居に関する知識を踏まえて、住居管理の意義や具体的な管理技法・方法について説明できること。</li> <li>さらに、住居管理を通じてどのような住生活の改善を目指しているのかについて自らの意見を論理的に主張できること。</li> </ul>
		②	✓	
小テスト				
レポート	45	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業でレポートを課す。課題は授業の進捗状況や受講生の理解度を勘案して、授業中に指示する。</li> <li>適切で正しい日本語でないレポートの場合、提出遅れの場合は、減点の対象とする。</li> </ul>
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性)</li> <li>・実際の住まいや資料などを通じて、授業・教科書での学習内容がより深めることができる。</li> <li>(実行力)</li> <li>・知識の獲得・深化のために授業以外への学習行動に取り組むことができる。</li> <li>(課題発見力)</li> <li>・講義での質疑応答やレポート課題において、常に問いかける視点をもつことができる。</li> <li>(創造力)</li> <li>・テーマ毎の学習内容の関連を考え、多面的な見方と、総合的なとらえ方をすることができる。</li> <li>(発信力)</li> <li>・ポイントや結論を明確に示し、わかりやすい表現で意見を述べることができる。</li> <li>(傾聴力)</li> <li>・話し言葉や書き言葉の内容を理解し、加えてその文脈にも思いをめぐらすことができる。</li> <li>(規律性)</li> <li>・講義に前向きに臨み、指示された課題等に真剣に取り組むという学習者の基本的勢を持続的に保ち続けることができる。</li> </ul>
		②	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得され、これに基づいて健康・快適・安全・豊かな自らの住生活のための具体的な方策やその効果・限界を表明できること。 ②住居管理について、多様な住み手の住居に対する管理課題やニーズを把握し、適切にアドバイスできる能力を身につけていること。 S(秀)=①+②、 A(優)=①	①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得されていること。 ②これに基づいて健康・快適・安全・豊かな住生活に向けた実践への意思が明確に表明できること。 B(良)=①+②、 C(可)=①

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1回 /	授業ガイダンス～「住居」と「管理」の概要を理解する。	講義と質疑応答	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいや文化の概念を自らの言葉で説明できる	(復習)教科書1章1,2,5,6。受講ノート(予習)レポート①。 ・ライフ、サイクル、スタイルの語義を整理する。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2回 /	住まいのライフサイクル、ライフスタイル～住まいの家族の多様性を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート①提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・住まいの必要性を自らの言葉で説明できる。	(復習)教科書9章。受講ノート (予習)教科書1章3,4,7。レポート②。 ・建築基準法と都市計画法の主旨を理解する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3回 /	住まいの法制度～住まいが遵守すべき種々の法律を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート②提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・ライフスタイルとライフサイクルの違いを説明できる。	(復習)教科書1章3,4,7。受講ノート (予習)教科書8章。レポート③。 ・住まいの部屋、部位をそれぞれ7つリストする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4回 /	住まいの部屋・部位～住まいの管理が部屋・部位によって多岐に及ぶことを学ぶ。	講義と質疑応答	レポート③提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・日本の住まいの特徴や様式を説明できる。	(復習)教科書8章。受講ノート (予習)教科書1章3,6。レポート④。 ・住まいの構造の生物的劣化、化学的劣化を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5回 /	住まいの構造管理～住まいの構造を劣化、風化から守り、耐風・耐震・耐火・耐水などの性能を維持する管理を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート④提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成 ・西洋の住まいの特徴や様式を、日本住宅と比較して説明できる。	(復習)教科書1章3,6。受講ノート (予習)教科書2章。レポート⑤。 ・住まいでの電気、ガス、水道の使用状況を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6回 /	住まいのエネルギー管理～住まいの電気、ガス、水道などのエネルギーとその管理法を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑤提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・部屋の名称とその由来・意味を説明できる。	(復習)教科書2章。受講ノート (予習)レポート⑥。 ・住まいの快適さと不快さの区別を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
7回 /	住まいの環境管理～健康・快適な空気、音、熱、湿気などの環境をもたらすための管理を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑥提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの部位についてその機能や役割を説明できる。	(復習)受講ノート (予習)レポート⑦。 ・空気、音、熱、湿気などをコントロールするための設備をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8回 /	住まいの設備管理～冷暖房、換気、情報、防犯などの住まいの種々の設備の管理を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑦提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの3つの構造の長所・短所を説明できる。	(復習)受講ノート (予習)教科書6章。レポート⑧。 ・住まいの中にある生活財をグループ化する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9回 /	住まいの生活財管理～生活の質を高めるような生活財の購入・利用・収納について学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑧提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・2つの寸法体系の違いと現代の住まいでの使い方を説明できる。	(復習)教科書6章。受講ノート (予習)教科書5章。レポート⑨。 ・住まいを維持する収入、支出の項目を整理する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
10回 /	住まいの家計管理～住まいでの生活に必要な収入・支出とその管理を長期的視点にたつて学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑨提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの環境要素の制御・管理の仕方を説明できる。	(復習)教科書6章。受講ノート (予習)レポート⑩。 ・住まいで危険と思われる場所を10箇所リストする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11回 /	住まいの安全管理～住まいに潜む様々な危険を排除し、安全な生活を送るための課題・対処法を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑩提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・椅子座と床座の今後の有り様について私見を述べることができる。	(復習)受講ノート (予習)教科書7章2,3,4。レポート⑪。 ・高齢者に安全で安心な住まいの条件を5つリストする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
12回 /	住まいの高齢者対策～高齢化社会にあつて、高齢者に安全・安心な住まいを提供する管理を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑪提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの機能の外部化・内部化について説明できる。	(復習)教科書7章2,3,4。受講ノート (予習)レポート⑫。 ・リフォーム、リノベーション、リニューアルの定義をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
13回 /	住まいのリフォーム～住まいの性能を維持するためのリフォームとその意義を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑫提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいと庭の適切な管理の仕方を述べることができる。	(復習)受講ノート (予習)教科書3,4章。レポート⑬。 ・隣近所との大切な関係を3つリストする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14回 /	居住地の管理～地域の社会生活を円滑に送るため、居住地の環境向上のための共同管理のあり方を学ぶ。	講義と質疑応答	・レポート⑬提出 ・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・居住地の環境向上の重要性と、地域管理参加への意欲を述べることができる。	(復習)教科書3,4章。受講ノート (予習)教科書9章。レポート⑭。 ・5年後、25年後、45年後の自分の住まいと生活を考える。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
15回 /	これからの住生活管理～家族、社会、住居等の変化を見すえ、自分らしいライフデザインを考える。	プレゼンテーションと 講評	・レポート⑭提出 ・プレゼンテーション ・将来の自らのライフスタイルのデザインに向けて私見を述べることができる。	(復習)教科書9章。受講ノート	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力